

カトリック横浜教区 平和旬間2025

講演会

パレスチナとわたしたち

～ ガザ戦争から見る支援の限界と役割

講師 金子 由佳さん

(立教大学兼任講師、国際協力NGO職員)

8月11日(月・山の日) 13:30～

カトリック雪ノ下教会 大聖堂

戦後80年、世界は再び戦争と暴力の時代に入ったかのようです。今年のパラ旬間では、ガザ地区で長く支援活動に携わっておられる金子由佳さんに、ガザを中心としてパレスチナの現状について話していただきます。私たちに何ができるか、ともに考えたいと思います。是非ご参加ください。

《 時間割 》

第1部 講演会

13:30～15:40

第2部 ミサ

16:00～17:00

※ ご自由にご参加下さい。
事前申し込みは不要です。

主催 カトリック横浜教区

協力 カトリック横浜教区 正義と平和協議会

カトリック雪ノ下教会

お問合せ カトリック横浜教区 正義と平和協議会

Eメール: yokohama.kyoku.seihei@gmail.com

※ Eメールを使わない方は、FAX: 053-434-5087(カトリック鷺の宮教会)

※ 万一変更のあった場合は、教区ホームページなどでお知らせいたします。

講師の紹介

金子 由佳(かねこ ゆか)

埼玉県出身。2003年大学卒業後、長年難民支援NGOやODA実施機関で勤務。2011年にロータリー世界平和フェローとしてオーストラリアの大学で国際政治学修士課程修了。

国連大学勤務を経て、2012年からNGO職員としてエルサレム事務所・ガザ事業担当として現地赴任。2019年日本赤十字社レバノン派遣要員。

現職セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンではイエメン及びガザの開発・緊急支援事業担当。これまで100回近くガザを訪問。

2019年から立教大学兼任講師としてパレスチナ問題を教えている。

※ 金子さんが書かれた記事「パレスチナにおける援助の限界と役割」が、『福音宣教』(オリエンス宗教研究所)2025年5月号に掲載されています。

雪ノ下カトリック教会



(カトリック雪ノ下教会ホームページより)